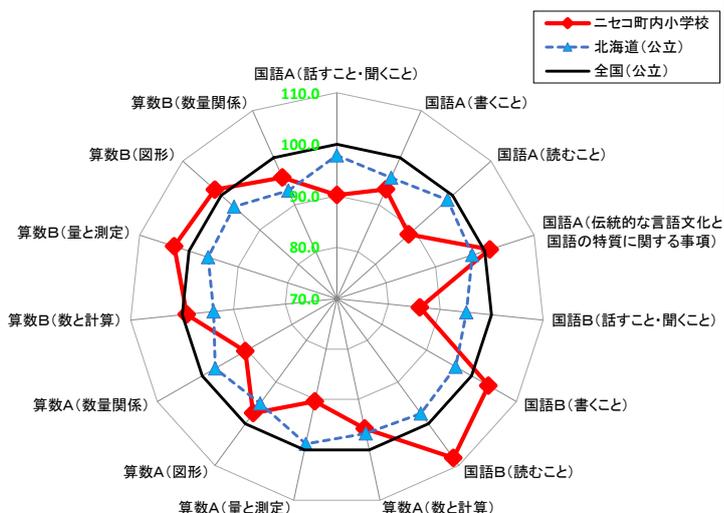


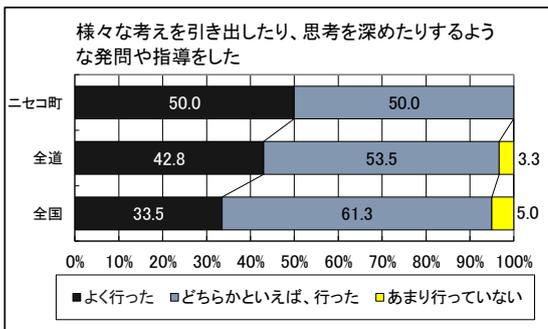
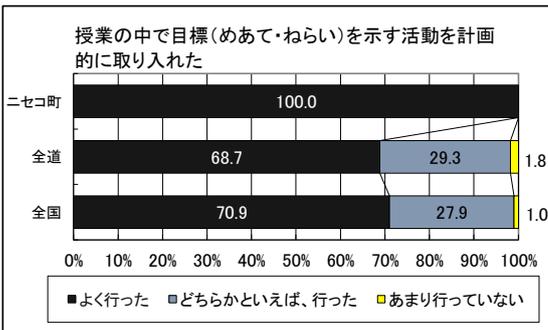
■ニセコ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:28名)

【教科全体の状況】

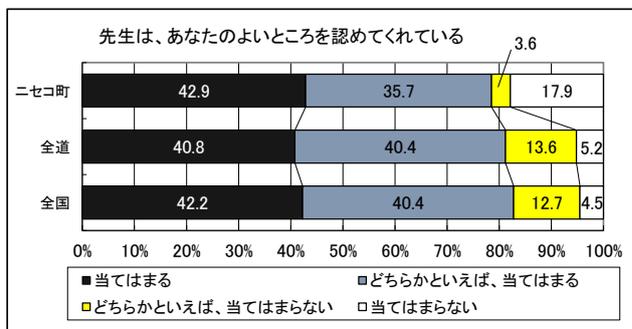
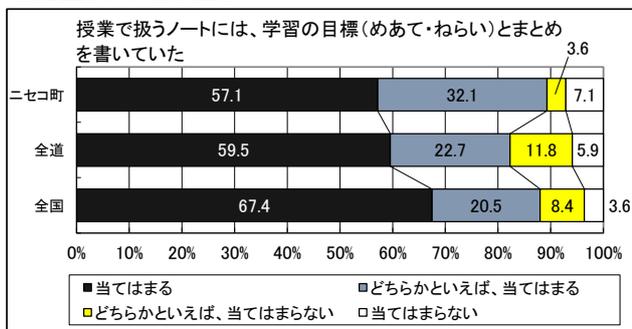
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Bでは、「量と測定」「図形」で、全国を上回っている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ 「様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

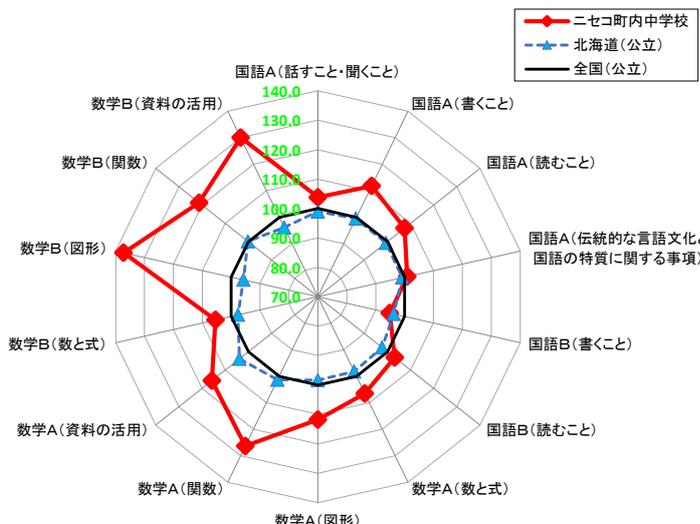
【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ T・T指導や習熟度別少人数指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ アクティブ・ラーニングの導入などによる「楽しい」「わかる」授業づくりの推進
- ◎ 学校図書室支援員の配置による読書環境改善や読書習慣定着の取組の充実
- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進

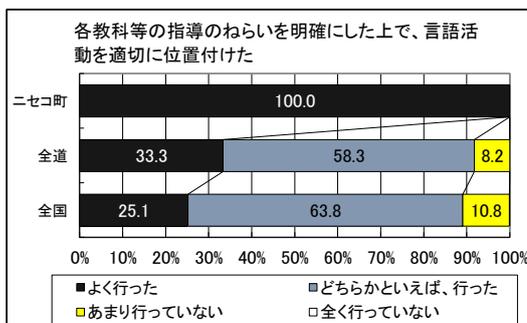
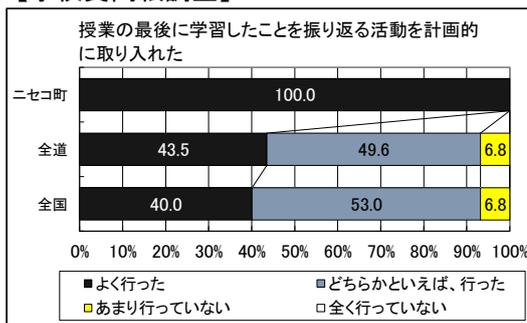
■ニセコ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:47名)

【教科全体の状況】

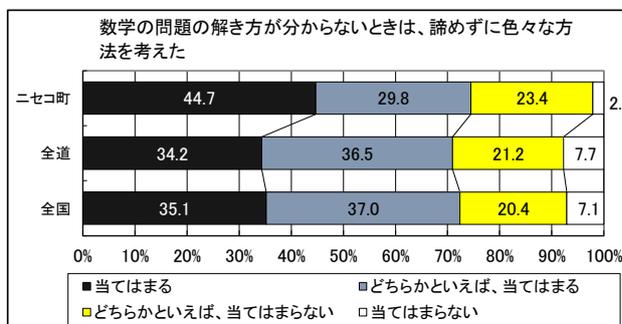
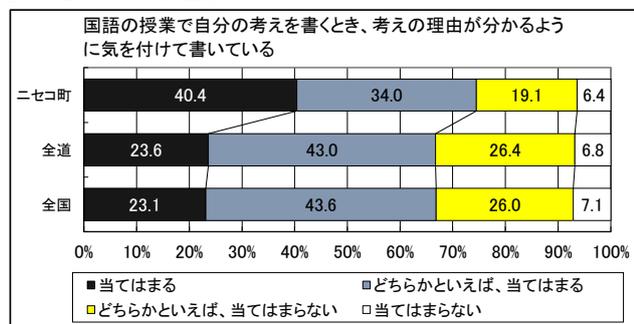
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、すべての領域、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けるとともに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れるなどの授業改善を行った結果、基礎的・基本的な内容が定着するとともに、思考力・判断力・表現力等が育成され、国語A及び数学A・Bのすべての領域で、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずに色々な方法を考えた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた。 ○ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた。 	

【ニセコ町の学力向上策】

- ◎ T・T指導や習熟度別少人数指導、ICTの有効活用など多様な指導方法の工夫
- ◎ アクティブ・ラーニングの導入などによる「楽しい」「わかる」授業づくりの推進
- ◎ 学校図書室支援員の配置による読書環境改善や読書習慣定着の取組の充実
- ◎ 「学校評価ガイドライン」に基づく幼・小・中・高の連携強化と学校改善の推進